



授業風景を見学する保護者達

瀬戸内町の古仁屋高校(荷福章義校長、生徒151人)は7日、同校の校風や少人数制の個別指導のメリットを説明。職員らは「説明会を機に、一人でも多くの生徒に入学してもらえた学校説明会を開いた。徒に入学してもらえた

教職員らは、同校の校風や少人数制の個別指導のメリットを説明。職員らは「説明会を機に、一人でも多くの生徒に入学してもらえた学校説明会を開いた。徒に入学してもらえた

ら」と期待を寄せていました。

来春中学卒業を控える町内の3年生77人中、7月の進路希望調査で同校への進学希望者は35人と低迷。校風や生徒への指導内容を保護者へ周知し、進学に迷う子どもにアドバイスを送つてもう目的で説明会を実施。町内の各校から15人の保護者が参加した。

保護者らは進路指導室や図書館など、生徒が利用する校内施設や真剣な表情で授業を受ける授業風景を見学。学校紹介では同校の特

色である進学、情報ビジネスコースの説明や部活動紹介で学校生活の実情を認識。進路指導、生徒指導を担当する教員から生徒一人一人に添った個別指導について説明を受け、理解を深めた。

緑武士生徒会長は「生徒数は少ないが、互いに協力して団結する実行力が古仁屋高校の魅力。多くの後輩ができるたらうれしい」と話す。「石政彦教頭は『国公立大学受験から就職まで様々な生徒を指導できるのは、少人数校のメリット。生徒

個別指導のメリット説明

説明会

入学者増に期待

古仁屋高

2012年(平成24年) 9月8日 土曜日

在校生たちの説明に耳を傾ける参加者たち=7日、古仁屋高校



中3保護者向け説明会

古仁屋高、授業など見学

県立古仁屋高校（荷
福章義校長、生徒15
人）は7日、中学3

年生の保護者を対象に初の学校説明会を開催した。瀬戸内町内から15人が参加し、授業の様子を見学したほか、在校生や教諭から学校の特色や進路指導などについて説明を受けた。同校は5月と7月に中学生向けの1日体験入学を実施したが、進学希望者が7月10日段階の調査で定員80人に對し35人にとどまつて

いることから、学校をPRするため保護者向け説明会を初めて開いた。保護者たちは進学コースや情報コースの公開授業を見学し、在校生から学校行事などの説明を受けたほか、部活動などを紹介した

VTRも鑑賞した。生徒会長の緑武士君（16）は「人数が少ない学校だけど、学年を超えて生徒たちが仲良く團結力がある。一人でも仲間が増えたらうれしい」と訴えた。参加した保護者は「先生たちが熱心なのが良い。これまで保護者向けの説明会がなかったので、良い機会だった。子どもの進路はまだ決めていないが、参考になつた」と話していた。